

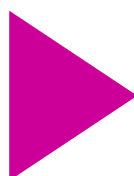


2023年4月26日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社
イオンリテール株式会社

農場での労働者福祉に関する「GLOBALG. A. P. 社会実践のリスク評価」で満点を獲得
イオンが国内初となる「新GGNラベル」付き農産品の展開を開始



これまで



これから

イオンは、4月26日より順次、責任ある農業を可視化するクロスカテゴリの認証である「新GGNラベル」付きの商品の展開を開始します。

イオンは、2018年にアジアで初めて、GOOD（適正な）、AGRICULTURAL（農業の）、PRACTICES（実践）を証明する国際基準の仕組み「GLOBALG. A. P.（以下：グローバルギャップ）認証」を取得した農場でつくられた農産物であることを示す「GLOBALG. A. P. Number ラベル」（以下、GGNラベル）付きの商品の展開を開始しました。

これまでのGGNラベルは、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した持続的な生産活動を実践するグローバルギャップ認証を取得していることが要件でしたが、2021年に立ち上がった新しいGGNラベルは、グローバルギャップ認証を取得した農場で作られていることに加えて、労働者福祉（以下：GRASP=GLOBALG. A. P. Risk Assessment on Social Practice）と、サプライチェーンの透明性（以下：COC=Chain of Custody）についても、責任ある条件下で生産する農場であると第三者機関によって証明されていることが要件として求められています。

このたび、イオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオンアグリ創造株式会社が、2022年度の審査においてGRASPでフルスコア（満点）を獲得し、イオンが日本国内で初めて新GGNラベルを付けた商品の展開を開始することになりました。これまでのGGNラベル同様、認証番号を入力することで、世界のどこで、誰がつくったものかを知ることができます。

イオンは、今後も自然資源の持続可能性と事業活動の継続的発展の両立を目指し、自然・生態系・社会と調和のとれた持続可能な農産物の調達に努めてまいります。

記

【新GGNラベル付き商品供給の概要*】

- 展開開始 : 2023年4月26日（水）より順次
- 販売店舗 : 関東圏の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」など約200店舗
※近畿、中四国、九州エリアのイオングループ店舗でも順次拡大予定です。
- 展開品目 : トマト、ほうれんそう、こまつな、きゅうり
※季節による変動があります
※店舗によって取り扱い品目や販売価格が異なります。また、取り扱いがない場合もあります。

以上